

旧海上中学校跡地について



平成18年3月15日撮影

接続道路：

北側：主要地方道銚子旭線 幅員6.5m 一部歩車道境界あり
東側：市道U-3039号線 幅員3.9m～5.5m 歩道なし
南側：市道U-3052号線 幅員5.5m 歩道なし

旭市立嚶鳴小学校学校再編地域検討会議 検討結果

旭市学校再編基本方針の（仮称）海上地域小学校について、旭市立嚶鳴小学校学校再編地域検討会議において検討した結果、下記のとおりとなった。

鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を 1 校に統合することに	①賛成 または ②反対
統合校の位置について、嚶鳴小は	①賛成 または ②反対
旧海上中学校跡地は	①賛成 または ②反対

【検討の経緯と理由】

嚶鳴小学校は、明治 39 年の創立以来、地域と共に歩んできた歴史と伝統があり、地域に根付き親しまれている学校である。令和 6 年度の児童数は 376 名と適正規模を維持しているが、今後児童数は減少していくことが見込まれている。また、同地域の鶴巻小学校や滝郷小学校では既に児童数が著しく減少しており、複式学級の発生が現実的になっている。

会議の中では、保護者アンケートの結果や海上地域全体の子どもたちの教育環境を考えると統合はやむを得ないという意見が多数であり、鶴巻小、滝郷小、嚶鳴小を 1 校に統合することに「____」となった。

統合校の位置：嚶鳴小

会議の中では、・・・などの意見があり、統合校の位置を嚶鳴小にすることには「____」という意見が多かった。

統合校の位置：旧海上中学校跡地

会議の中では、・・・などの意見があり、統合校の位置を旧海上中学校跡地にすることには「____」という意見が多かった。

委員提案

統合校の位置：海上中学校北側農地

旭市学校再編基本方針では候補地としていない場所だが、委員より統合校の位置として提案があった。会議の中では、地区の中央に位置し、使いやすい土地なので長い目で見ると一番理想的という意見や、中学校や公園が隣にあると駐車場が使えて、また子育ての面からも魅力的という意見などがあり、多数の委員からこの場所を希望する声があった。

【会議の概要】

第 1 回 (R6.7.10)	(1) 旭市学校再編基本方針の概要について (2) 海上地域小学校の現状と保護者アンケート結果について (3) 意見交換
第 2 回 (R6.8.5)	(1) 学校再編の目的について (2) 事例紹介（香取市立山田小学校・東庄町東庄小学校） (3) 統合校の候補地について (4) 意見交換
第 3 回 (R6.10.2)	(1) 3 校の統合について (2) 意見交換
第 4 回 (R6.11.5)	(1) 統合校の位置について (2) 意見交換

令和 6 年 月 日
旭市教育委員会